

# 知的障害部門

(第17号)

# 研究の概要

## 1 研究に当たって

### (1) 研究に至る経緯

本校では、これまで「知的障害のある児童生徒の『キャリアプランニング・マトリックス(試案)』に基づく指導計画、授業内容の見直しや、「単元における観点位置付けシート」「単元においてねらうキャリアの観点シート」(いずれも国立特別支援教育総合研究所作成)を活用した授業改善に取り組んできた。

今、これからの特別支援教育を考える上で、キャリア教育の視点は欠かせない。キャリア教育の充実が特別支援教育の充実につながるともいえる。そのような流れの中で、今年度から始まった「愛顔(えがお)のえひめ特別支援学校技能検定」(以下技能検定)の受検に向けた高等部の新たな取組を中心に据え、各部署でそれぞれの発達段階に応じたキャリア教育の実践を目指して授業改善に取り組んだ。

また、一方で、県からの指定を受けて、インクルーシブ教育システム構築事業(特別支援学校のセンター的機能充実事業)を進めるに当たり、外部人材活用、ICT機器の活用について、小学部・中学部・高東部の縦割りグループによる研究体制を整え、事例を取り上げて授業研究に取り組んだ。外部人材の活用により、より専門性の高い視点からの助言を基に、個々の実態把握や目標設定の仕方、指導・支援の在り方について見直して、今後の実践につなげていけるよう取り組んだ。

### (2) テーマ

#### ・部別研究テーマ

「児童生徒の将来を見据えたキャリア教育の実践」

#### ・グループ別研究テーマ

「外部人材活用による授業改善を目指した教材研究及び授業実践」

### (3) 設定の理由

#### <部別研究>

本校では、ここ数年、キャリア教育を推進し実践してきたが、愛媛県では今年度技能検定が始まった。検定へ向けての高等部での取組を、広く小・中学部や訪問教育部へも広げることで、発達段階を踏まえた系統的なキャリア教育が進められる一つの方向性ができると思った。将来的には一人一人の児童生徒の自立と社会参加という大きな目標を掲げる中で、検定の具体的な内容と必要とされる力は、主体的に自分の役割を果たすことができる力へとつながり、地域社会や家庭、職場といったいろいろな社会の中で、一人の社会人として貢献できる力へとつながっていくものとする。日々の授業を積み重ねていく中で、授業改善に努め、そのような力の育成を図りたいと考え、本テーマを設定した。

#### <グループ別研究>

私たちは毎日の授業の中で、常により良い授業の実践を考えているが、児童生徒の適確な実態把握、それに基づいた目標設定、指導・支援の在り方の工夫など、様々な課題があり、日々悩みを持ちながら児童生徒と接している。そこで、外部人材を活用し、学校の外からの視点で授業を捉えたり、各職種の専門性に基づくアドバイスを受けることで授業改善を進められると考え、本テーマを設定した。

### (4) 研究の目的

部別研究では、小学部・中学部・高等部・訪問教育ごとに、技能検定の内容を踏まえた授業実践の取組を行い、系統性のあるキャリア教育の実践を通して授業

改善を行う。

グループ別研究では、外部人材を活用し、外部講師によるアドバイスを基に個別の実態把握や目標設定の仕方、指導・支援の工夫など、事例の検討を通して授業改善を行う。

(5) 研究の方法

キャリア教育とインクルーシブ教育システム構築事業の二つの事業に係る研究体制を取ったため、各部別の研究と小学部・中学部・高等部縦割りのグループ別研究の二本立てで取り組んだ。

<部別研究>

月	日	曜	内 容
5	27	火	本年度の計画を立案する。 ・高等部産業科：技能検定に向けた取組について ・小・中学部、高等部普通科：技能検定の内容を踏まえ、児童生徒の発達段階や実態に合った取組について ・訪問教育：キャリア教育の視点で今年度改善を図りたい題材及び研究の方法について
6	26	木	各部で取組内容の検討
8	26	火	各部で授業実践の報告
10	28	火	各部で授業実践の報告
1	27	火	研究のまとめ
2	24	火	校内研究発表

<グループ別研究>

外部人材の講師が参加し、課題別のグループによる授業研修会を2回行った。

グループ名	参加職員数		
	高等部	中学部	小学部
①身体バランス、姿勢や運動面に対する支援	6名	6名	6名
②ソーシャルスキルトレーニング	11名	2名	2名
③言語・コミュニケーション	10名	4名	5名
④ICT・AT活用	6名	3名	3名

月	日	曜	内 容
6	30	水	第1回グループ別研修 ・各グループにおいて検討する事例対象児童生徒の決定 ・事例の課題整理
9	9	火	第2回グループ別研修 ・研究授業(第1回授業研修会)の指導案検討。
9	26・29・30	金・月・火	第1回授業研修会(グループ別で実施)
10	20・21・27	月・火・月	第3回グループ別研修 ・第1回授業研修会における指導・助言内容の確認 ・研究授業(第2回授業研修会)の指導案検討
11	26・27	水・木	第2回授業研修会(グループ別で実施)